

輿巡幸因登腋上嘸間丘而廻望國狀曰妍哉乎國之獲矣雖內木綿之真進國猶如蜻蛉之醫咲焉由是始有秋津洲之號也昔伊弉諾尊目此國曰日本者浦安國細戈千足國磯輪上秀真國復大己貴大神目之曰玉牆內國及至饒速日命乘天磐船而翔行太虛也晚是鄉而降之故因目之曰虛空見日本國矣

〔古事記傳中景行〕零大冰雨打惑倭建命○中自其幸行而到能煩野之時思國以歌曰夜麻登波久爾能麻本呂婆○下

〔古事記傳二十八〕此二句は倭國は大八島國の中の麻本羅なる國ぞと稱給へるなり

〔日本書紀二十九天武〕四年正月壬戌大倭國貢瑞鷄二月癸未勅大倭河内攝津山背播磨淡路丹波但馬近江若狹伊勢美濃尾張等國曰選所部百姓之能歌男女及侏儒伎人而貢上

〔續日本紀聖武〕天平九年十二月丙寅改大倭國爲大養德國

〔續日本紀十七聖武〕天平十九年三月辛卯改大養德國依舊爲大倭國

〔伊呂波字類抄國郡〕大和○中勝寶元年改爲大和○下

〔國號考〕夜麻登○下

夜麻登といふはもと畿内なる大和一國の名なるを神武天皇此國に大宮亥きませりしよりして後の御代々々の京もみな此國內なりける故におのづから天の下の大名にもなれるなりさて此名は邇藝速日命のあまくだらし時に虚空見倭國といへる古語ありて神代よりの名なり又それよりさきに八千矛神の御歌にやまととの一本す、さとあれどもそは此國の名をよみたまへるにはあらじとぞおもふ又書紀の神武御卷の末に昔伊弉諾尊目此國曰日本者浦安國細戈千足國磯輪上秀真國とも見えたりかくて神武天皇は此國に宮亥きましけるによりて神日本磐余彦尊と大御名を稱奉れり然るをかへりて此大御名より起りて國の名ともなれりと